

コンピュータリテラシ応用

第5回：Excel

相対参照と絶対参照

情報学部 情報学科 情報メディア専攻

清水 哲也 (shimizu@info.shonan-it.ac.jp)

今回の目標

- 目標：相対 / 絶対 / 混合参照を使い分け，式を正しくコピーできる
- 今日やること
 - 参照の仕組み
 - F4 キー切替
 - 混合参照

Keywords: Relative, Absolute, Mixed, F4, \$A\$1, A\$1, \$A1

授業内容

1. タイピング練習（5分）
2. 参照の考え方
3. F4で切り替え
4. 例①：税込金額（相対＋絶対）
5. 例②：一律割引（相対＋絶対）
6. 例③：九九表で混合参照

準備（ファイル）

- Excelを起動して「空白のブック」から空のExcelを開く



参照とは（要点）

- 相対参照：コピー先に合わせて動く参照（例：D2*E2）
- 絶対参照：どこへコピーしても固定（例：\$B\$1）
- 混合参照：列または行だけ固定（例：\$B2 / B\$2）

\$ が付く場所＝動かしたくない場所。

参照とは（相対参照）

- 相対参照：コピー先に合わせて動く参照（例： `D2*E2` ）

	A	B	C	D	E
1				=B1	
2		1	=A2	=B2	=C2
3		2		=B3	
4		3			
5		4			
6		5			
7					

参照とは（絶対参照）

- 絶対参照：どこへコピーしても固定（例： `B1` ）

	A	B	C	D	E
1					
2		1	<div>必ずB2セルを参照</div> <div>=\$B\$2</div>	<div>=\$B\$2</div>	<div>=\$B\$2</div>
3		2		<div>=\$B\$2</div>	
4		3			
5		4			
6		5			
7					

参照とは（混合参照）

- 混合参照：列または行だけ固定（例： `$B2` / `B$2`）

	A	B	C	D	E	F
1	A1	B1	C1	=A\$1	=B\$1	=C\$1
2	A2	B2	C2	=A\$1	=B\$1	=C\$1
3	A3	B3	C3	=A\$1	=B\$1	=C\$1
4	A4	B4	C4	=A\$1	=B\$1	=C\$1
5	A5	B5	C5	=A\$1	=B\$1	=C\$1
6	=\$A1	=\$A1	=\$A1			
7	=\$A2	=\$A2	=\$A2			
8	=\$A3	=\$A3	=\$A3			
9	=\$A4	=\$A4	=\$A4			
10	=\$A5	=\$A5	=\$A5			
11						
12						

！ 行目参照を固定

！ 行目参照を固定

F4 キーで参照を切り替える

- 数式内でセル参照を選択 → F4 を押すと 相対参照→絶対参照→混合参照(行)→混合参照(列)→相対参照 と切替

	A	B	C	D	E
1					
2		参照元		=B2	
3					
4					

最初の状態

最初の状態(B2) → F4 キー1回目(\$B\$2) → F4 キー2回目(B\$2) →
→ F4 キー3回目(\$B2) → F4 キー4回目(B2)

課題準備（ファイル）

- MoodleからExcelファイルをダウンロード
- ファイル名： `学籍番号_氏名_05_Ref.xlsx`
- 保存はこまめに：Ctrl+S

課題①：税込金額（相対参照＋絶対参照）

シート名：税込

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	日付	商品	単価	数量	金額	税込		税率
2								10%
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								

課題①：税込金額（相対参照＋絶対参照）

- A列：A2セルに今日の日付を入力（2025/10/21，幅を調整），オートフィル
- B列：商品名（食べ物）を自由に入力（例：りんご）
- C列：商品名を参考に相場の単価を入力（例：りんご→230円）
- D列：数量は1から15までの数字を入力
- E列：単価×数量を数式で計算する（例：`=C2 * D2`）
- F列：金額（E列）に税率をかけた税込み価格を数式で計算する
- 税率は絶対参照を利用してください
- 金額列は桁区切り，税込列は通貨表示

課題②：一律割引（相対参照＋絶対参照）

シート名：割引

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	日付	商品	単価	数量	金額	税込		割引率
2								15%
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								

課題②：一律割引（相対参照＋絶対参照）

- A列：A2セルに今日の日付を入力（2025/10/21，幅を調整），オートフィル
- B列：商品名（文房具）を自由に入力（例：ボールペン）
- C列：商品名を参考に相場の単価を入力（例：ボールペン→230円）
- D列：数量は1から15までの数字を入力
- E列：単価×数量を数式で計算する（例：`=C2 * D2`）
- F列：金額（E列）から割引率分を引いた割引後金額を数式で計算する
- 割引率は絶対参照を利用してください
- 金額列は桁区切り，税込列は通貨表示

課題③：九九表で混合参照（列固定 / 行固定）

シート名：九九

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2	1										
3	2										
4	3										
5	4										
6	5										
7	6										
8	7										
9	8										
10	9										
11											

課題③：九九表で混合参照（列固定 / 行固定）

- B2 に数式： `=$A2*B$1`
 - `$A2`：列A固定（A列の段が固定）
 - `B$1`：行1固定（1行目の段が固定）
- B2 を 右と下にオートフィル → きれいな九九表が完成

よくあるつまずき（対処）

- 税込が行ごとにバラバラ → `B1` が `$` なしになっていないか
- 九九が斜めに同じ値 → 混合参照の `$` の位置が逆
- 数値にならない → 文字列（左寄り）に注意、先頭の `'` を削除
- %表示が変 → 値を 0.1 にして パーセンテージ表示 を適用

課題

- 提出先：Moodle「[第5回 課題](#)」
- 提出物：学籍番号_氏名_05_Ref.xlsx
- 提出期限：授業終了時刻まで

参考操作（覚えると楽）

- F2：アクティブセルの式を編集（参照の色で追跡）
- Ctrl+Enter：同時入力／同時確定
- Ctrl+`：式の表示/非表示切替（グレイブ）
- Ctrl+1：セルの書式設定ダイアログ

まとめ

- 相対＝動く、絶対＝固定、混合＝片方だけ固定
- F4で素早く切替 → コピーして確認が基本動作
- 税率・割引率・見出しで固定参照を使うと、ミスを減らせる